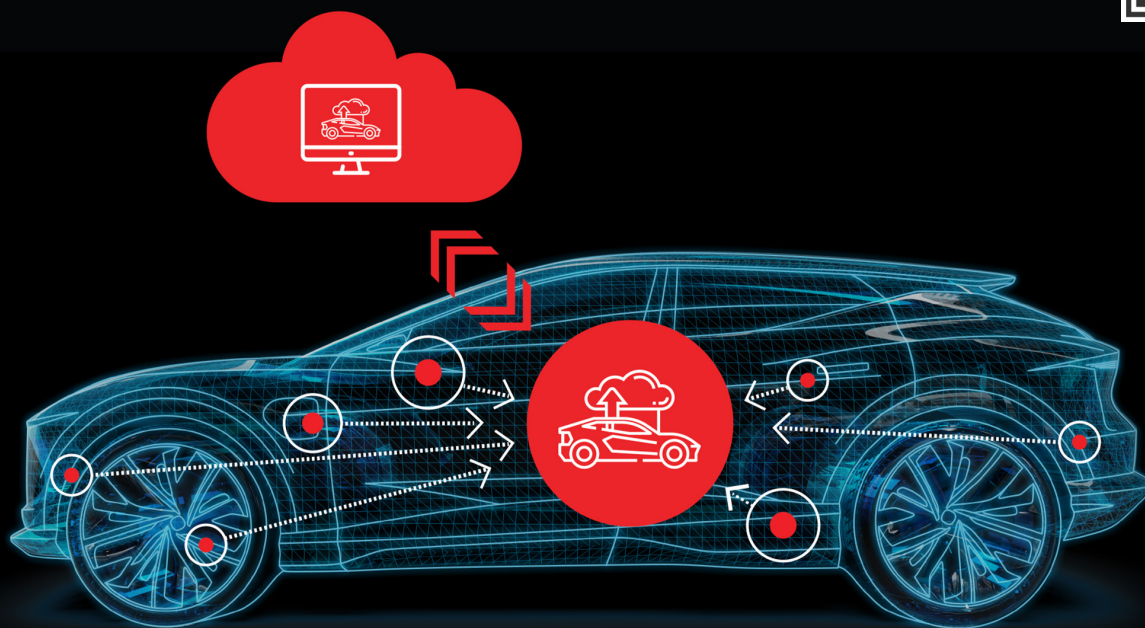


Sonatus Collector

データを活用して持続的な自動車革新を推進する



クラウドに接続された車両データの価値を最大化する

簡単なコンフィギュレーション設定でリアルタイムに必要なデータのみを収集する
動的に収集されたデータを利用して、車両のライフスパンを通じて車両の品質と顧客体験を向上させます。



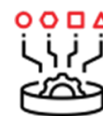
動的にデータを収集する

データ収集ポリシーは、製造前から販売後、車両が走行中であっても、車両のライフサイクル全体でリアルタイムに適用できます。コードの変更や重いOTAのアップデートは必要ありません。



効率的なデータの活用

対象となる軽量なポリシーを使用してデータのアップロードと処理コストを削減し、ソフトウェアの更新なしでデータ収集を最適化します。



多様なユースケースのサポート

顧客体験を向上させ、車両の品質と安全性を向上させ、新しい収益源を確保するために、幅広いデータ駆動型アプリケーションをサポートします。

Sonatus Collectorの特徴

車両のライフサイクルのどの段階でも、E/Eアーキテクチャやハードウェアに関係なく、豊富で正確なデータ収集が可能です。

動的なデータの収集

- クラウドから軽量なポリシーを作成して展開
- 数百万台の車両にわたるキャンペーンの管理
- 収集範囲、期間、解像度の調整
- 複数のユーザーグループを同時にサポート
- 複数のストレージと転送モードの活用

正確にデータ収集する

- CAN/Ethernet信号、ECUイベント
- 車両のイグニッション状態
- 位置/ジオフェンス
- スケジュール、時間帯、曜日
- 外部APIの呼び出しとイベント

あらゆる車両データへのアクセス

- CAN信号
- ログファイル
- メディアのキャプチャ
- ネットワークの統計情報

データのセキュリティとプライバシー

- 役割ベースのアクセス制御
- データは格納時に暗号化されています
- TLSを使用して転送が安全に行われます
- GDPRに準拠しています

データ駆動型の革新を実現する

主要なグローバルOEMが、Sonatus Collectorを活用してリアルタイムにデータを使用して車の所有体験を向上させている方法についてお読みください。

[Sonatus.com/ja/HyundaiCaseStudy](https://sonatus.com/ja/HyundaiCaseStudy)

2020年から本稼働。2024年末までに数十のモデルと数百万台の車両が道路上に存在します。



対応規格

